

令和5年12月25日

保護者様

横浜市立中尾小学校

校長 廣瀬 ユミ

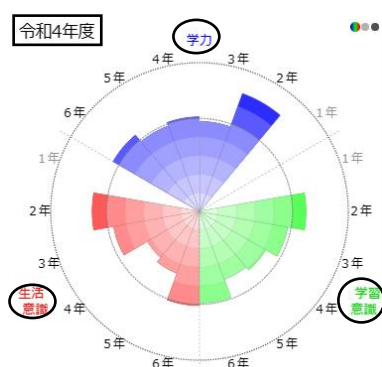
## 令和5年度 横浜市学力・学習状況調査 本校集計結果について

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。さて、4月に実施(2年生から6年生までが対象)いたしました「令和5年度横浜市学力・学習状況調査」について、本校の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

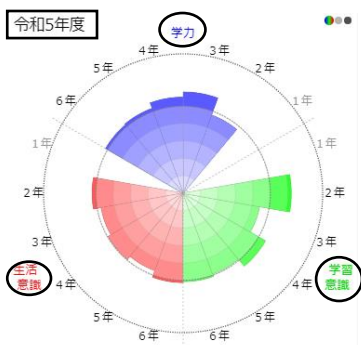
これらの情報を分析し、日々の授業や児童指導をはじめとする教育活動の充実・向上に活かすことで、本校児童のより一層の成長につなげていきます。

### <調査結果から見た本校児童のよさと課題について>

#### (1) 各教科の学力の状況について



○昨年度と今年度の「生活意識」と「学習意識」を比べると、どちらも児童の意識が高くなったことが分かる。学校全体を見ても上昇している傾向にある。学習意識に関しては、受容的な学習姿勢ではなく、学習課題に対して切実感をもって主体的に取り組む児童が増えたといつてよい。また、生活意識に関しては学校のきまりを守って気持ちのよい生活を送ったり、友達のことを思いやってお互いが楽しく学校生活を送ったりすることができている。誰もが安心して学校生活を送れるよう、今後も引き続き支援をしていく。



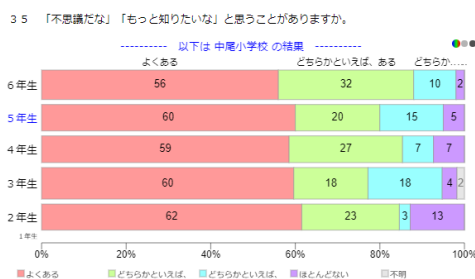
○本校児童の学力は、多くの教科において、市全体の平均値付近にある。しかし、学年によっては市の平均よりやや低い教科があることが分かった。学習に進んで取り組む意識は高いので、学力の維持・向上を図るとともに、自ら解決方法を考えることのよさを実感したり、より良い考えを求めていこうとしたりできるよう指導を図っていく必要がある。

○各教科ごとに見ると、高学年の理科は市の平均を上回った。また、多くの学年の国語・算数は市の平均を上回っている。今後も基礎基本を高めていくことが、全体的な学力向上につながっていくと考える。

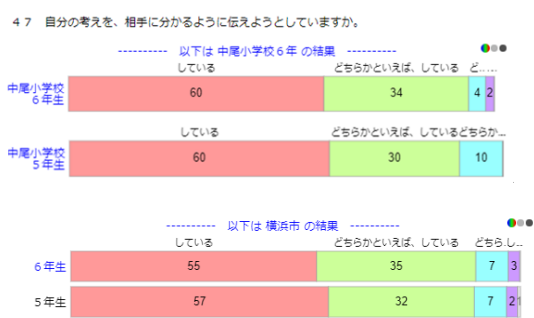
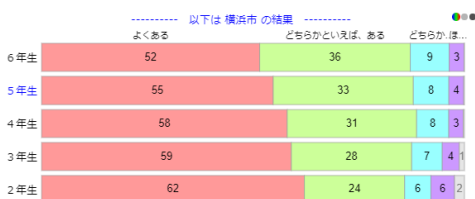
## (2) 学校や家庭での生活意識について

○90パーセント近くの児童が毎日朝食をとっており、十分な睡眠時間を確保していることが分かった。規則正しい生活習慣が身に付いているのは、保護者の協力のお陰である。面談等で保護者と連携を図りながら引き続き児童の心身の健康維持に努める。

○「自分にはよいところがあると思いますか。」「人のためになることをしたいと思いますか。」という質問に対して肯定的な答えを回答した児童が市の平均よりも上回っている。自分や他人に関心があり、より良くしたいという思いをもつ児童が多いということが分かる。今後も自分らしさを発揮しながら、伸び伸びと学校生活を送っていけるよう支援していく。



○「不思議だな」「もっと知りたいな」と思うことがありますか。」という質問について、「よくある」と答えた児童が全校を通して多く、市の平均を上回った。各教科や総合的な学習の時間など、教育活動全体において、個人のタブレットを使用して疑問に思ったことをすぐに調べることができる環境も、興味・関心をもつ一因ではないかと言える。また、仲間と関わり合いながら学習を進める中で、友達の考えを知り、自分の考えを広げ、さらに追及していきたいという思いが出てきたのではないかと考える。集団で学習することの良さを味わえるよう、引き続き支援していく。



○「自分の考えを、相手に分かるように伝えようとしていますか。」という質問に対して、「している」と答えた高学年の児童が市の平均を上回っている。日常の学習の中で、ペアや小グループでの話し合いの場を意識的に取り入れている。その結果が成果に表れていると考えられる。その一方で、「言葉や文字などを使って、人と気持ちや

意見をやり取りすることは好きですか。」の質問に対して、「好き」と回答した児童は、市の平均をやや下回った。学習の中で指示通りに行くことはできるが、自分から積極的にコミュニケーションを取ろうとする児童が少ないためと考えられる。主体的な児童を育成するためには、興味もてるものができるだけ多く取り入れて児童が必要感・切実感をもって学び、対話が生まれる授業を目指していくことが大切である。コミュニケーションを図ることによって自分の見方や考え方を広げられる児童をこれからも育てていく。